

「さあ行こう、  
汽車に乗りおけるといけないうよ。  
さびしいなあ、あんなに深い雪の中で  
一人で暮らせるかしら、さあ出かけよう」  
「どこへ行くの？」  
「どこって長岡さ」  
堀口すみれ子著「虹の館」より抜粋

堀口大學と長女すみれ子

## 堀口すみれ子 トークショー

長岡ゆかりの詩人  
フランス文学者

# 堀口大學は誰が育てたか

平成29年

日時 **12月3日(日)**

14:00 ~ 15:30  
(開場13:30)

会場 **新潟県立近代美術館 1階講堂**  
新潟県長岡市千秋3丁目278-14

申込 電話申し込み ☎0258-39-2500  
※先着で定員になり次第締め切ります  
＜定員150名＞

入場 要:事前申し込み・参加費無料



詩人・エッセイスト  
堀口すみれ子

書道展示

トークショーの会場となる新潟県立美術館で  
長岡大手高校書道部による堀口大學の詩を  
モチーフにした書道作品を展示  
平成29年 12月1日(金)~1月8日(月・祝)

特別展開催

新潟県立近代美術館「堀口大學展」  
平成29年 12月2日(土)~1月8日(月・祝)  
長岡市立中央図書館「詩人堀口大學と長岡展」  
平成29年 11月28日(火)~12月10日(日)

# 堀口すみれ子 トークショー

地域の宝がより一層輝き、子どもたちに故郷への誇りを抱いてもらうために  
 越後長岡応援団の宇崎竜童さん、阿木耀子さんを総合プロデューサーに迎えスタートしたミ・アモーレプロジェクト。  
 阿木さんと長岡ゆかりの詩人・フランス文学者 堀口大學の長女・すみれ子さんが友人というご縁もあり、  
 今年3月に大學をテーマにしたトークショーを開催し、大學の詩の世界や言葉に込めた想い、故郷への愛を2人ならではの切り口で語りました。  
 今回のトークショーでは、大學の人物像をさらに掘り下げ、新潟県立近代美術館と長岡市立中央図書館の  
 堀口大學展の資料にまつわる様々なエピソードを交えながら、人間・堀口大學にとことん迫ります。

すぎた日頃  
 行ってしまった  
 遠くの方へ  
 すぎた日頃は  
 よい日であった  
 すぎた日頃  
 行ってしまった  
 遠くの方へ  
 すぎた日頃は  
 よい日であった  
 私  
 泣くのをやめよう  
 かのころ  
 景色がのこる  
 一人でなげく  
 心のために  
 海と山との  
 景色がのこる  
 一人でなげく  
 心のために  
 すぎた日頃  
 行ってしまった  
 遠くの方へ  
 すぎた日頃は  
 よい日であった

長岡ゆかりの詩人  
 フランス文学者

## 堀口大學は誰が育てたか



堀口大學と長女・すみれ子



ほりぐちだいがく  
 堀口大學 (1892～1981)

詩人・フランス文学者。  
 長岡出身の堀口九萬一の長男として、東京本郷に生まれる。幼少時代を父の家郷の長岡で過ごす。旧制長岡中学卒業後、慶應義塾大学予科に進むが中退。外交官だった父について、19歳から33歳まで海外で暮らす。帰国後に出版したフランス語からの訳詩集「月下の一群」は日本文壇に大きな影響を与える。創作詩集「月光とピエロ」など、モダンで甘美な作風が特徴。長岡高校第二校歌、与板高校第二校歌、神田小学校、上組小学校、附属長岡小学校の校歌の作詞を手がけるなど、長岡との関わりは深い。1979年に文化勲章受章。

トークショーの会場となる新潟県立美術館で  
 長岡大手高校書道部による堀口大學の詩を  
 モチーフにした書道作品を展示  
 平成29年 12月1日(金)～1月8日(月・祝)

### 書道展示



平成29年3月12日(日)阿木耀子×堀口すみれ子トークショー「堀口大學とその愛」の開催に合わせて、長岡大手高校書道部が大學の詩を描いた作品を展示しました。(会場：フェニックス大手イースト)



堀口すみれ子

詩人・エッセイスト。  
 神奈川県葉山町在住。フランス文学者・詩人 堀口大學の長女として静岡県に生まれる。詩集に『風のあしおと』『水辺の庭』、エッセイ集に『私のはやま道 - そして返子・横須賀・三浦 三浦半島の散歩道』、著書に『虹の館 - 父・堀口大學の思い出』『父の形見草』、編著に『堀口大學詩集幸福のパン種』などがある。「ミス」家庭画報など婦人雑誌でも活躍。